

政策カルテ

1. 政策の位置づけと目標

主管課 子ども未来課

政策の柱	市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために	取組の 基本方向	「健全な青少年を育成する」ため、青少年が社会の一員として役割と責任を果たしていくための「青少年の社会的自立の促進」、青少年が非行や問題行動などを起こすことなく、健全に生活していくための「非行・問題行動の未然防止」に、重点的に取り組みます。						
政策名	5 健全な青少年を育成する								
目 標	青少年自身が規範意識を持ち、非行や問題行動を起こすことなく、社会の一員として充実した生活を送っています。	政策指標 の進捗状況	政策の指標	青少年が、社会の一員としての自覚を持って、充実した生活を送っていると感じている市民の割合					
政策を 取巻く環境	青少年を取り巻く環境の変化に伴い、コミュニケーションや自立に不安を抱えている青少年が増加しており、また、非行や問題行動に対する青少年自身の規範意識が低下している。こうした中、将来への夢や希望を育みながら、社会の一員として健全な社会生活や活動を営める青少年を育成するとともに、社会環境の浄化や青少年の規範意識の醸成を図ることが重要となっている。		H19：基準	H20	H21	H22	H23	H24：目標	進捗状況
			17.5%	14.0%				32.0%	43.8%

2. 政策の評価

現状と 課題の分析	政策指標の進捗状況は、3.5ポイント下がっているものの、巡回指導による被指導者数は減少している。各施策の状況については、「青少年の社会的自立の促進」の指標は単年度評価を行うことができないが、「非行・問題行動の未然防止」の指標は100%の達成率である。両施策とも重要度が高いことから、「青少年の社会的自立の促進」については、青少年が自立して活動するために何が必要なのか現状を的確に把握するとともに、地域・青少年関係団体・学校等と一層の連携強化を図り、事業を推進していく必要がある。「非行・問題行動の未然防止」については、巡回指導員を始め、警察、学校及び各種団体と連携しながら、有害環境の浄化や問題行動の早期発見などに努めていく必要がある。
--------------	--

3. 政策を構成する施策一覧

	施策名	施策の達成状況				施策の二次評価	市民の意識	
		施策の指標	H19：基準	H20	H24：目標		進捗状況	満足度
1	青少年の社会的自立の促進	若年者（15～34歳）における非労働者（家事・通学を除く）の割合（%）	1.10		1.00		24.3%	77.3%
2	非行・問題行動の未然防止	巡回指導による被指導者数（人）	3,537	2,883	3,500	100.0%	18.4%	81.2%